

「わたしができるしゅう集ボランティア」

一宮市立西成東小学校三年

高田 彩菜

わたしは、お母さんに教えてもらって一年半くらい前から、ベルマークを集めています。

ベルマークは、わたしたちが使う身近な物についています。たとえば、おかしの箱やおにぎりのふくろ、学校で使うノートなどです。今まで気づかなかったので、ゴミとして捨てていました。だけど、今ではベルマークは切りとりのほかの部分は、リサイクルとしてしげん回しゅうに出しています。食べた後や使った後に切りとるのには、手間がかかるけど地道に集めていくとたくさん集まります。集めようとする気持ちがあるだけで、動きがかわってきます。

ベルマークがどんなことに使われているのか調べてみました。ひさい校のしえん、すべての子どもたちに同じように学ぶきかいをあたえたいというねがいがあるそうです。教がいや教育かんききょうのじゅう実、ベルマークちよ金で買い物した代金の十パーセントがへきち学校やさいがいにあつた学校などのしえんに当てられます。ベルマークは一点一円だそうです。作ぎようで大切なことは、集計作ぎようをまちがひなくかく実に行くことです。わたしも母さんと仕分け作ぎようをしました。文字や番号、マークが小さく、細かい作ぎようでとても大へんでした。でも、人のやくに立つことなので、これからもつづけていきたいです。

わたしはペットボトルのふたも集めています。ベルマークやペットボトルのふたは、家でもかんたんにできるしゅう集ボランティアです。家

族やお友だちとききょう力してベルマークをいっぱい集めたいです。

